

こんにちは!

No.192
令和8年5月1日

しばた議会

です

ドキドキ
ワクワク

特集

★未来へつなぐ、柴田の一步 (P2~6)

令和7年度3月会議

★子ども誰でも通園制度 始まる

(P10~11)

表紙の写真について⇒裏表紙P20



「議会ネット中継」は
こちらから

の一步

過去最大規模 令和8年度 一般会計予算

160億88万円

令和8年度予算に見るまちづくり

町制施行 70 周年記念事業

予算総額：246万2千円



地域の歩みを見守り続けた、懐かしの旧庁舎



明治8年の柴田町役場周辺 (AIによるカラー化画像)

町制施行70周年
歴史を振り返り、
未来へつなぐ

昭和31年4月1日、船岡町と槻木町が一つになり誕生した「柴田町」。令和8年度、いよいよ70周年という大きな節目を迎えます。かつての役場を知る、当時20代だった90歳以上の方々にとっては、町の景色が劇的に変わった記憶として刻まれているはずです。

今回の予算では、6月13日に槻木生涯学習センターで開催予定の記念式典の予算として246万2千円を計上。しばたの郷土館に眠る当時の写真と、今を生きる私たちの姿を重ね合わせ、歩んできた歴史を振り返ります。記念式典では、太鼓演奏などのアトラクションも予定されており、宮城県知事をはじめ約300名を招待。子どもたちの未来へ柴田の誇りをつなぐ、心温まる式典を目指します。

槻木町に4分校あり、茅葺き屋根が並ぶ時代。耕地整理や家電の普及で生活は劇的に変化しました。昭和40年頃は車もまれで、道も未舗装な曲がり道ばかりでした。



高橋 新助さん (93歳 上川名)

70周年おめでとうございます。私が柴田町に生れ育ち52年が経ちました。わが町の自慢は何と言っても昔と変わらない自然豊かな光景です。これからも素晴らしい自然を保ちつつ、多くの方々にアピールしていただければと思います。



松田 剛さん (土手内)



旧船岡町役場



旧槻木町役場

未来へつなぐ、柴田

町制施行70周年、夏のにぎわい復活、桜の新たな彩り

しばたのサマーフェスティバル事業補助

予算総額：70万円

柴田町商工会青年部が主催する「しばたのサマーフェスティバル」に70万円の補助金が予算化されました。目玉は打ち上げ花火の再開。地域のにぎわいを取り戻し、子どもたちに地元で夏の思い出をつくってもらおうと期待が込められています。

夏のにぎわい復活
花火と笑顔が戻る
柴田へ



柴田に花火と笑顔が帰ってくる

「しばたのサマーフェスティバル」をグレードアップして開催します！打ち上げ花火など夏祭りにふさわしいイベントもありますのでぜひお越しください！



おがた けいすけ
尾形 圭介さん
(船岡東)

さくら植栽委託料 (飲料メーカーによる指定寄附)

予算総額：100万円



河津桜 早咲きで、濃いピンク色が特徴

桜のまちを守り育てる河津桜で春の魅力アップ
飲料メーカーのCMによる寄附金を活用し、船岡城址公園などに河津桜を植栽します。あわせて樹木医による観察や草刈り回数増加などの管理も強化。柴田の桜を守り育て、より長く春を楽しめる環境づくりが進められます。

植樹や手入れを重ね、若い桜を未来へつなげる活動を広げ、四季を楽しむ柴田町の桜の景観をより豊かにしていきたいと思っています。



ひらま かつみ
平間 勝美さん
(海老穴)

令和8年度各種会計予算案を徹底討議!

大切に使われるか? みんなの税金

町長から提案された令和8年度各種会計予算について、所管する各課に説明を求める予算審査特別委員会が3月10日から12日までの3日間で行われました。

各議員は町民の皆さんの大切な税金が効果的に使われるか、必要なところに予算がついているのかなど、293ページにもわたる予算書をくまなくチェックした上で、担当課に説明を求めました。

歳入

固定資産税の増収へ

質疑 新築家屋着工数が減少傾向にありながら、増収増を見込む理由

答弁 令和7年には132件の着工があり、家屋調査結果を反映して増額を見込んでいる。



新築住宅ゆるやかに増加



地方交付税・地方債

質疑 臨時財政対策債の発行がゼロとなっているが、地方交付税の水準は回復しているのか。

答弁 国の税収が伸びており、地方交付税の総額も前年比6.5%と増額されている。賃上げや物価高騰への対応も考慮されており、臨時財政対策債を発行しなくても、通常の交付税で財源が確保できる状況にある。

歳出

総務課

消防団員の確保へ

質疑 令和8年度の具体的な団員確保策は。

答弁 令和7年度からの報酬増額など改善に努めている。ポスター掲示や現役団員による声かけなどを考えている。また、各地区の防災組織へ協力を求めたい。



自分のまちは自分で守る

まちづくり政策課

ふるさと柴田応援寄附金増へ (DM作戦)

質疑 ふるさと柴田応援寄附広告料が前年度より100万円増えた理由は。

答弁 効果的なPR方法としてDM(はがき広告)を導入するためである。令和7年度に約1万人に送付した際、約2669万円(964件)の寄附につながり、高いリピーター確保効果があったため、令和8年度も200万円を投じて実施する予定である。



届いた時のワクワク感

子ども
家庭課

船岡保育所に空調設備追加

質疑 400万円の具
体的な工事内容は。



エアコン取付け(AIによるイメージ画像)

答弁 船岡保育所は築
19年が経過し、セント
ラル式の空調機能が低
下している。令和6年
度に一部増設したが、
残る5室(1〜5歳児
室)にもエアコンの大
型版を増設する緊急対
策である。抜本的な改
修には時間がかかるた
め、当面は既存のセン
トラル式と併用して機
能を補完する。



夏も冬もみんなの保育室がさらに快適に

健康推進課

みやぎ県南中核病院企業団負担金増額
分娩は6年ぶりに再開

質疑 前年度比で約
6300万円増額して
いるが要因と今後の見
通しは。

答弁 最大の要因は救
急医療負担金の増加

で、柴田町分だけで約
5600万円増えてい
る。今後は分娩の再開
手術室の増築、資材高
騰、工期延長による負
担増も予想される。



わが家に、新しく尊い命が誕生しました

商工観光課

しばた桜まつり交通警備委託料

質疑 今回から町が直
接計上している700
万円の委託料は純粋な
警備費用なのか。

答弁 広範囲な会場で
の警備責任を明確にす

るため、町が直接契約
し、オペレーションを
行う体制に変更した。
700万円は昨年の実
績から算定した純粋な
警備員の人件費である。



日本さくら名所100選に選ばれたしばたの桜

農政課

有害鳥獣対策(熊対策など)

質疑 有害鳥獣対策事業費のなかに、熊対策の経費は盛り込まれているのか。

答弁 熊対策として、見回り費用のほか、新たに町職員が緊急時に使用する防護用シールド(盾)2枚の購入費を計上している。

質疑 熊を寄せ付けなため、柿や栗などの誘引木の除去費用は含まれているのか。

答弁 令和8年度当初予算には計上していないが、国や近隣自治体の動向、所有者の意向および熊の出没状況を見ながら協議・検討していく。



熊に遭わない、寄せ付けない (AIによるイメージ画像)

都市建設課

槻木五間堀改修工事の進捗は

質疑 令和8年度に予定されている、具体的な工事内容は。また、全体として、いつ完了する見通しなのか。

答弁 令和8年度は約3千万円で約200メートルの施工延長を



着実に進む槻木五間堀改修工事の現場

予定している。これにより計画の約半分が完了する。残る半分には6〜8千万円程度の事業費が必要であり、予算の付き方次第だが、完了までさらに2〜3年かかる見通しである。

都市建設課

情報板整備工事の詳細は

質疑 1500万円計上されている情報板整備工事の内容と設置場所は。

答弁 船岡駅(改札口を出て正面入口の左側)と船岡城址公園(「さくらの里」入口の右側)の2カ所に設置する。大きさは65インチ程度の画面で、ショッピングモールの案内表示板のような

タッチパネル式のものを用意している。



柴田町の魅力をタッチパネルで (AIによるイメージ画像)

スポーツ振興課

全国大会等出場奨励金と文化活動支援は

質疑 スポーツ及び文化活動全国大会等出場褒賞の具体的な基準や対象範囲は、どのようになっているか。

答弁 小中高生で分かれていたメニューを統合し、幅広く支援する名称を「褒賞」へ変更し、従来のスポーツ大会だけでなく、引き続き文化活動(コンクール等)やスポーツ少年団の大会なども支援していく。



優勝おめでとう!

令和8年度各種会計当初予算・施政方針に対する

総括質疑

総括質疑とは、施政方針や予算案などについて不明確な点や疑問があるとき、町長に対し総括的な質疑を行うものです。一般質問とは異なり、提案や自分の意見を述べることはできません。3月会議では3人の議員が総括質疑を行いました。



ひらま ゆきひろ
平間 幸弘 議員



予算規模とシユリンクング(縮小) 政策の整合性は

問 予算規模が過去最大となる現状から、どのように「質の経済」へと転換を図り、将来的な維持管理コストを抑制していく考えか。

答 シユリンクング政策は、予算規模の大小でその有効性が評価されるわけではない。予算が過去最大規模となった理由は、物価や人件費、社会保障費の上昇のほか、「都市構造再編集中支援事業」や「地域未来交付金事業」を着実に進めるための経費や自然災害に対応するためのインフラ整備に係る経費を計上したことであり、シユリンクング政策の柱である「生活の質の向上」と「地域の再生」を見据えた予算編成となった。

また、「質の経済」へ転換するには、地域社会が培ってきた行事や歴史、地元企業による付加価値の高い製品やサービスを地域で生み出していく。維持管理コストの抑制は、公共施設等総合管理計画に基づき進める。

次世代の農業をどう考える

問 ほ場整備事業の6地区同時進行によるリスク管理は。

答 6地区完了まで、あと約9億円の負担が必要となるため、財政への影響は相当大きい。

採択地区数の増加により、予算の確保と工事の長期化が課題である。長期化は区画化整備の遅れにつながり、担い手農家の経営計画に影響を及ぼすことになる。

問 スマート農業推進では、機械導入コストに加え、維持管理や更新費用が発生する。支援の考えは。

答 町は、整備事業推進や機械を導入しやすい環境整備など、間接的に経営の支援をしていく。

問 農業後継者と担い手への農地集積は。

答 「農地集積・集約する担い手」として、後継者の受け皿となる組織を作るため法人化を奨励している。5地区で農業法人を立ち上げ、残る地区も設立に向け準備中。後継者が入りやすい環境を整える段階に入ったものと捉えている。



たかはし たいこ
高橋たい子 議員



財政状況は

問 令和8年度一般会計予算は約11億円の財源不足となる。7年度と比較した財政状況は。

答 地方税収入は伸びているが、社会保障費、人件費、一部事務組合負担金等の制御できない経費も増となり、「身動きの取りづらい窮屈な財政状況」と捉えている。

問 持続的な財政運営を行う上で、令和8年度予算の位置付けは。

答 持続可能な財政運営が可能かどうかの一里塚と位置付ける。

施政方針について問う

問 「生活の質を高め、ウェルビーイングな社会」とは。

答 住民一人ひとりが身体的、精神的・社会的に満たされ、「この町に住んで良かった」「今後も住み続けたい」と実感できる状態を指す。

問 「コンパクトでキラリと光るアグレッシブなまちづくり」とは。

答 多くの人を引き付ける魅力があり、行ってみたい、住んでみたい、誇りに思う、心の豊かさに重点を置くまちづくりをいう。



しらうち えみこ
白内恵美子 議員



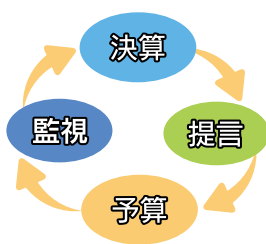
令和8年度予算審査

議会からの
要望的意見3項目と
各委員会で監視する事業

柴田町議会では、決算審査を予算に反映させる取組を行っています。町民の声や議会からの提言や要望をどのように予算化されたかを、委員間討議で徹底議論しています。

3月会議では、各委員会から決算時に提言した項目などを言明して、令和8年度予算について議論しました。

政策サイクル



町長へ要望的意見書提出

令和8年度予算執行にあたっての要望的意見

1 イベントを好機とした
「体験型PR」の展開を

ふるさと柴田応援寄附金の増額に向けて、船岡城址公園で開催している各イベントで、返礼品の試食・試飲コーナーを設け、その場でのオンライン寄附や帰宅後のリピート寄附につなげられたい。

2 情報発信ツールの特性を生かした
効果的な情報発信を

LINEによる町からの情報発信については、視覚的な訴求力の高い発信に努めたとの報告をもらってはいるが、いまだに文字情報が多く、LINEの特性を生かしてきれていない。今後、他自治体のLINEを参考にして効果的な情報発信に努められたい。

3 保育環境の計画的な整備を

船岡保育所保育室空調設備工事は、既設空調の機能低下に伴い、家庭用大型エアコンを増設する緊急的な措置である。

令和8年度の整備事業では、応急的な整備ではなく空調設備の全面更新や計画的な整備についても検討を進め、子どもたちが安心して過ごせる保育環境の確保に努めること。

今後議会(委員会)で注視・調査していかなければならない項目

産業建設常任委員会



- * 町道・河川・橋梁工事の進捗状況
- * 現行の桜並木の保全と新たな河津桜
- * スロープカー整備工事の上部工・下部工の進捗状況
- * ほ場整備事業の進捗状況
- * 森林経営管理制度集積計画の制度確認と現地調査

文教厚生常任委員会



- * ヤングケアラーの実態調査について(再度の掘り起こしアンケート調査)
- * 柴田町総合型地域スポーツクラブ補助について
- * 乳児等通園支援事業について(こども誰でも通園制度)

総務常任委員会



- * 地域おこし協力隊の募集について
- * 町制施行70周年事業について
- * エリアマネジメント協議会設立支援業務委託料について(船岡城址公園周辺のにぎわいを開発する協議会の設立支援)
- * 地域コミュニティについて

1月会議

議案第55号 令和7年度柴田町新図書館建設工事請負契約

新図書館建設着工決定

契約金額
13億4508万円



工事概要

工事場所 柴田町船岡西1丁目422番地1
延床面積 1,636㎡
工期 令和8年1月～令和9年7月
契約業者 株式会社松浦組

本工事は第2世代交付金インフラ整備事業に位置づけられた柴田町新図書館を整備するもので、契約金額13億4508万円のうち1/2は国からの交付金で残額分は本町負担となります。建物内部は児童・一般・情報交流・学習研修の4つのエリアに分かれており、乳児から高齢者まで気軽に利用しやすい快適な図書館となる予定です。

4月会議

議員辞職・議員顕彰・補正予算

議員辞職について

森裕樹議員が提出した一身上の都合を理由とした辞職願は可決され、4月1日付けで辞職が決定しました。

議案第1号 令和8年度柴田町一般会計補正予算

物価高騰対応子育て手当支給事業について、出生などの理由により必要となる経費の増額補正となりました。(国庫支出金より61万4千円の増額)



おめでとうございます

白内恵美子議員は本町議会議員として、在職25年以上にわたり町政の発展に寄与されたので、議会から顕彰状が付与されました。

顕彰者
白内 恵美子

議員顕彰



ゆとりの育児支援事業との違いは？

通園制度始まる



保護者の働き方で保育環境を選べます（槻木保育所）

3月会議は、3月2日から19日までの日程で開催されました。新規条例1件、条例改正7件のほか、令和7年度各種会計補正予算と令和8年度各種会計予算の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。
一般質問は、12人の議員が17項目の質問を行いました。

議案第 65・66 号

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律により、特定乳児通園支援事業、通称「こども誰でも通園制度」が施行されました。

- ・議案第 65 号は、町が給付する給付費に関する確認手続きを行うための新規基準を新たに決めました。
- ・議案第 66 号は、各施設の設備及び運営についての国の基準が改正されたことにより、条例の一部を改正しました。

「こども誰でも通園制度」と「柴田町ゆとりの育児支援事業」との違いは、年齢、利用時間や日数、利用料金などです。利用する保護者の状況などを考慮し、どちらかを選択できる環境が整いました。

こども誰でも通園制度



項目	こども誰でも通園制度	柴田町ゆとりの育児支援事業
対象地域	住居地域の限定なし	柴田町内在住者
実施施設	槻木保育所	船岡保育所、槻木保育所、西船迫保育所
定員	5名程度	1保育所1日あたり7名程度
対象年齢	0歳6カ月～満3歳未満	0歳9カ月～小学校就学前
利用可能時間	月10時間(上限)	週2～3回
利用料金	300円(1時間)	1,100円(1日)※平日でも同額

利用などの詳しいお問い合わせ先は、柴田町役場 子ども家庭課
電話:0224-55-2115 Fax:0224-55-4172



町内の対象者数は

質疑 「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例」に基づき、本町において当事業の対象となる子どもは何人か。

答弁 本事業は、保育所や小規模保育施設などに通園していない子どもを対象としている。今年2月末時点における、生後6カ月から2歳までの子どもは約425人で、このうち保育所等のいずれかの施設への入所が決まっている288人を除いた、137人が事業の対象者となる。

対象事業所数は

質疑 認定となる保育所や事業所の数は。

答弁 各私立事業所に確認したが、希望する事業所はなかったことから、公立保育所である槻木保育所の1カ所で、令和8年4月1日から事業を開始する。

3月会議

柴田町でも

こども誰でも

議案第 73 号・議案第 78 号 令和7年度 一般会計補正予算

各事業費の確定による減額のほか、船迫小学校の照明器具更新工事や補助事業の精算による国県支出金の返還金に要する経費を補正しました。

予算総額 173 億 2040 万円

船迫小学校照明のLED化(令和8年度工事) 職員室・保健室・特別支援教室・倉庫など、全98台を既存照明からLED照明に交換します。



昨年度LED化工事が完了した槻木中学校



この電柱は、もうしばらくこのままで

電柱移設予算を見送り

質疑 庁舎南側の駐車場にある既設電柱の移設補償費予算が見送られた理由は。

答弁 当初、庁舎附属設備の工事に合わせた移設を検討していたが、令和8年度から車庫の解体や「水道お客様センター」の建設工事が順次予定されており、最終的な全体舗装に合わせる方が効率的であると判断し、現時点での予算計上を見送った。

質疑 今後の実施時期は。

答弁 一連の工事が完了する令和9年度以降となる見込みである。

移転補償費は妥当か

質疑 スロープカーの補強工事で「支障物件移転補償費」220万円の内容は。

答弁 橋脚のコンクリート増し打ち工事において、大型のコンクリートポンプ車を使用する際、機械のブーム(アーム部分)が既存の電柱に接触することが判明した。施工上、電柱5本の撤去や架線の防護カバー設置が不可欠であり、工事業者や関係機関との現地立会い後協議を経て算出した補償費となる。

議案第69号

柴田町国民健康保険条例の一部改正

子ども・子育て支援法の改正(令和6年6月12日公布)に伴い、新たに「子ども・子育て支援金制度」に関する規定が設けられました。これに合わせて国民健康保険税の課税額の内訳に「子ども・子育て支援納付金」に必要な規定を加えるものです。

低所得者の負担増では

質疑 定額負担は実質的に「税の均等割」であり、低所得者の負担が重くなるのではないか。

答弁 所得に応じた「所得割」もある。低所得者層へは軽減制度があり、2人世帯で7割軽減の場合、年額3千400円が1千円に減額される。

滞納時の制限は

質疑 滞納している場合、子育て支援サービス利用の制限につながるのか。

答弁 滞納の場合、資産や収入を調査し、支払い能力に応じた手続きを行う。なお、滞納により子育て支援サービス利用が制限されることはない。

反対 討論 賛成

一般財源で負担すべき

広沢 真議員

子ども・子育て支援金を一律で上乗せすれば低所得者の負担になる。支援金は、国民健康保険に上乗せして負担を求めているのではなく、一般財源から公費として負担すべきである。

安定的な財源の確保

高橋たい子議員

少子化対策の施策を継続的に実施するためには、安定的な財源を確保しなければならぬ。その財源となる今回の条例改正は、必要なものであると理解する。

一般質問

12人の議員が 町政を問う！

3月会議では、議員18人中12人が質問しました。

吉田 清 議員

P13

不登校児童生徒の保護者に支援を

吉田 謙治 議員

P15

マップアプリで町情報の活性化を

笠松 均 議員

P13

親亡き後の障がい者支援は

大橋 武彦 議員

P15

中学生が町に提言する場を

平間奈緒美 議員

P13

ウェルネス拠点の将来像は

白内恵美子 議員

P15

認知症バリアフリー社会の実現を
 ・対話を重視した住民懇談会開催を

大坂 三男 議員

P14

観光事業のさらなる充実を

小田部峰之 議員

P16

歩道部の早急な安全点検と改修を
 ・戦略的投資と定住促進を

吉田 和夫 議員

P14

インフルエンザ予防接種の拡大を
 ・エレベーターでの閉じ込め対策は

平間 幸弘 議員

P16

自転車の青切符に町の対応は
 ・滝口町長の進退は

平間 康弘 議員

P14

ローコストアリーナの誘致を
 ・在宅介護訪問入浴サービスを問う

佐々木裕子 議員

P16

リチウムイオン電池の回収と広報



3月会議における質問席での一般質問の状況

Q 不登校児童生徒の保護者に支援を

よしだ 吉田

きよし 清 議員



A 給食費相当額を給付する



ありのままの自分で

問 不登校は誰にでも起こり得る最優先課題だ。学びの場である子どもの心のケアハウス（以下ケアハウス）等に通う際、昼食費や交通費の負担は重い。将来、学校給食の無償化が実現した際、保護者に対し、どのような支援を行うのか。

答 給食の提供を受けていない児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を給付する。

問 ガソリン代や交通費などの「通学費助成」を拡充することはできないか。

答 ケアハウスだけでなく、通常の学校へ送迎している家庭もあり、特定の施設だけ、交通費を助成することは難しい。

問 ケアハウスにおいて、まずは月1回などの試行から、給食の提供を開始できないか。

答 学校との心理的つながりを維持する提案は理解するが、児童生徒の心理面や衛生管理及び安全管理の面で難しい。



かさまつ 笠松

ひとし 均 議員



Q 親亡き後の障がい者支援は

A 支援や助言が届く体制を整備する

問 親亡き後を見据えた障がい者支援に関して、現状をどのように把握しているのか。

答 令和6年3月に「第7期柴田町障害福祉計画」及び「第3期柴田町障害児福祉計画」の策定にあたり、障がいのある方の生活の様子や障害福祉サービスの利用ニーズ等に関するアンケート調査を実施し、現状の把握を行っている。個別のケースについては必要に応じ、障がいのあるご本人とその家族、町の担当者や関係機関を交えて、今後の生活の方向性を協議する場を設け、個別の把握に努めている。

問 今後どのような施策や体制整備を進めていく考えなのか。

答 本町としては、今後も専門の相談機関、障害サービス事業所、医療機関などの多職種と連携を図り、適切な障害福祉サービスの利用や成年後見制度などの活用につなげていく。



一人じゃないよ (AI画像)

Q ウェルネス拠点の将来像は

A 賑わい創出につなげていく

ひらま なおみ 平間奈緒美 議員



新たなウェルネス拠点へ

問 船岡城址公園を核とした「ウェルネス拠点」として、どのような姿を目指すのか。

答 船岡城址公園は、心身の健康づくりの拠点として定着しつつある。今後は新図書館や交流施設などと連携し、新たなウェルネス拠点として整備し、にぎわい創出につなげていく。今後、「新たなウェルネス拠点」へと進化させるため、エリアマネジメント推進協議会を設立し運営していく。

問 船岡城址公園の坂道を歩いた際の消費カロリーについて、仙台大学と連携し、科学的根拠に基づいた「公式な数値」として示す取組を進めてはどうか。

答 仙台大学は地域貢献や教育の観点から連携の可能性がある。科学的根拠に基づくカロリー算出については、スポーツ振興課として大学に働きかけをしたい。

Q 観光事業のさらなる充実を

A 新スロープカーと観光を推進

おおさか みつお
大坂 三男
議員



再開待たれるスロープカー

問 昨年の桜まつり期間中のスロープカー運行停止の影響は。
答 通常運行していた一昨年の同期間と比較して、観光客数は約95%、売店の売上げは約90%に減少したので、スロープカー運行の影響があったと考える。
問 新スロープカーの再開時期が船岡城址公園の看板に令和9年夏頃と表示されている。来年の桜まつりに間に合わないのか。
答 問に合うよう調整した。看板表示は今週中に変更する。
問 新スロープカーの運行について、イベント期間中以外の平日運行はできないか。
答 従来、休日運行だけだったが、今後増やす方向で指定管理者と協議する。
問 本町の通年型観光客を増やすためには、トイレや案内看板の不足や大菊花展終了が心配だ。
答 トイレと園路看板等は増やし、菊は縮小して展示する予定。



よしだ かずお
吉田 和夫
議員



Q インフルエンザ予防接種の拡大を

A 未就学児まで拡大する

問 65歳以上のインフルエンザ予防対策は。
答 町内医療機関でのポスター掲示、広報紙への掲載やホームページ等を活用し、流行期前から周知を行っている。
問 中学3年生には無償で予防接種を実施しているが、保護者の反応は。
答 受験期における体調管理の観点から、保護者には一定の評価をいただいている。
問 子育て世帯の経済的負担をなくすため、予防接種への助成を拡大できないか。
答 助成の拡大を望むメッセージが複数寄せられている。生後6カ月から13歳未満に注射でのワクチン接種を行う場合は、2回の接種が必要となり、子育て世帯の経済的負担は大きい。令和8年度から、助成の対象を生後6カ月から未就学児まで拡大する。



予防接種がみんなを守るよ (AI画像)

Q ローコストアリーナの誘致を

A 現段階では誘致する考えはない

ひらま やすひろ
平間 康弘
議員



人々が集う新たな施設 (AI画像)

問 本町として誘致を検討する考えはあるのか。
答 ハコモノを誘致しても交流人口の拡大や周辺への経済波及効果は、すぐには生まれることなく、将来的な修繕費や運営費等により、負の遺産となるリスクが懸念されるため、現段階では誘致を検討する考えはない。
問 町内で候補用地の検討は。
答 誘致の考えはないため、調査検討はしない。
問 本町単独で困難な場合、仙南地域で連携協議の可能性は。
答 負担金が伴う事業等は、立地場所や負担金の割合など、各自治体の足並みがそろわないため連携協議は難しい。
問 今後、宮城県が市町村に対し候補地照会を行った場合、本町としての回答は。
答 誘致を検討する考えがないため回答はしない。

Q マップアプリで町情報の活性化を

A 町は直接の情報管理をしない

よしだ けんじ
吉田 謙治
議員



マップアプリは便利ね (AI画像)

※Google・ビジネスプロフィール：
Google マップ上の施設情報を
無料で表示・管理できるツール

問 「※Google・ビジネスプロフィール」を町として活用できないか。

答 町は直接、情報管理をすることを考えていないが、太陽の村やさくらの里などの観光施設については、指定管理者において活用を呼びかける。

問 マップアプリ上の間違った情報や古い情報は町として修正すべきではないのか。

答 Googleマップは公的な情報基盤ではなく、誰でも情報修正ができるため、正確な情報を適切に管理するのは難しいと考える。

問 「Google・マイマップ」で災害時に役立つマップアプリの活用は検討できないか。

答 現状、町が発行している各種ハザードマップで過去の浸水域等の確認が可能であるが、職員間での効果的な活用方法について、調査・研究を進める。



おおはし たけひこ
大橋 武彦
議員



Q 中学生が町に提言する場を

A 議会と連携し仕組みを検討

問 こども基本法では子どもの意見聴取が求められるが本町は、計画策定時のアンケートや子ども議会で意見を聞き、施策反映に努めている。

答 子ども議会で意見を聞き、施策反映に努めている。

問 子ども議会の成果と課題をどう捉えているのか。

答 防護柵やカーブミラー設置などの提案が事業化した。学びを深める工夫が課題。

問 子ども議会は、一部の6年生しか体験できない。ならば、中学生になってから、全ての中学生が提案や対話を経験できる場が必要ではないか。

答 公民や地域活動、議会の前授業で主権者教育をしている。

問 中学生を「町の課題を共に考えるパートナー」として提言を受けられる考えは。

答 これまでの中学生の自主的な取組を生かし、議会と調整しながら子どもたちの意見をより生かす仕組みを検討する。



中学生にも
まちの未来を語る場を

Q 認知症バリアフリー社会の実現を

A 新図書館で認知症カフェ開催予定

しらうち えみこ
白内恵美子
議員



誰も取り残さないまちへ

問 日本認知症官民協議会発行『認知症バリアフリー社会実現のための手引き』の『図書館編』は、図書館職員のみならず、福祉課や生涯学習課等の多くの職員の理解と啓発が必要では。

答 認知症への理解は、町民と接する全ての職員が備えるべきである。庁舎の窓口職員や若手職員などの理解促進を図るため、手引書の周知を図っていく。

問 保健福祉部局や市民団体を含む組織横断的な協働により、図書館を「地域包括ケアシステム」の核とすべきでは。

答 核の一部には考えられる。

問 図書館は高齢者の居場所となる。講演会等を行い、本に限らず必要な資料を全て置けば自然に人が集まる。全ての部署が上手に図書館を活用すべきでは。

答 福祉課では新図書館のスペースを使って「認知症カフェ」の定期的な開催を考えている。

Q 歩道部の早急な安全点検と改修を

おたべ みねゆき
小田部峰之
議員



A 段差がある部分の改修を実施する



早急な改修が望まれます

問 歩行者の転倒が危惧されるガタツキと段差のある歩道の早急な安全点検と改修の考えは。

答 側溝との段差がある未舗装区間を優先に、歩道の改修工事を実施する。県管理分については、改めて議会から改修工事の提案があったことを伝える。

問 改修の際、歩道の真ん中に建っている電柱の移動は可能か。

答 電柱管理者に相談し、可能であれば移動してもらおう。

問 費用の発生はあるのか。

答 官地から官地への移動には費用は発生しない。

問 主要な公共施設の駐輪場において、強風により転倒している状況が散見される。前輪を固定できる駐輪スタンドを導入する考えはないか。

答 建設中の新図書館には駐輪スタンドを設置する予定である。その他の施設には、利用状況をみながらの対応となる。



ひらま
平間

ゆきひろ
幸弘
議員



Q 自転車の青切符に町の対応は

A 命の尊さを学ぶ教育を展開

問 自転車の事故が増える中、加害者にならないための教育を。

答 事故の事例（被害者・加害者双方の視点）を授業や講話に取り入れ「他者の命を尊重する意識」を育む教育をしていく。

問 新たな授業枠は設けないが、既存の交通安全教室や全校集会を中学生の発達段階に合わせて一層充実させる。また、青切符の仕組みや罰則規定を伝えるとともに、交通ルールの遵守と責任の自覚を促していく。

問 中学3年生への事前教育が必要ではないか。

答 新たな授業枠は設けないが、既存の交通安全教室や全校集会を中学生の発達段階に合わせて一層充実させる。また、青切符の仕組みや罰則規定を伝えるとともに、交通ルールの遵守と責任の自覚を促していく。

問 学校などにおける交通安全教育の現状は。

答 小中学校では警察と連携し、年1回以上の実技や講話を含む交通安全教室を継続実施。保育所・幼稚園では、運転指導は行わないが、園外活動などを通じて基本的なルールや保護者への啓発を実施している。



ルールを守り安全運転

Q リチウムイオン電池の回収と広報

ささき ゆうこ
佐々木裕子
議員



A 管理施設で回収の強化を軸に検討



リチウムイオン電池の安全な回収を

問 リチウムイオン電池はなぜ集積所に出せないのか。

答 衛生事務主管課長会議において、集積所での回収は安全性・運用面で懸念が多いため、既存の市町が管理する施設では回収強化を軸に検討を進める事になった。町は利便性を図るため、町内の生涯学習施設に回収ボックスを設置することを検討中。

問 破損したリチウムイオン電池は、メーカーの自主回収対象外となることが多いのでは。

答 町民環境課で回収している。

問 一般的にどのような製品にリチウムイオン電池が内蔵されているのか、町民にとっては分かりにくいのが現状ではないか。

答 今後は、町のホームページに対象製品の写真等を掲載し、より分かりやすい情報を提供するとともに、仙南地域広域行政事務組合と連携し、パンフレット等の作成と頒布を行う。

議案の審議結果

詳しい審議結果はこちら→



区分	件名	議決月日	表決者数 成	賛成	議決結果	吉田 謙治	大橋 武彦	平間 康弘	笠松 均	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	大坂 三男	平間 奈緒美	佐々木 裕子	高橋 たい子	広沢 真	白内 恵美子	吉田 和夫	石森 靖明		
1月会議	柴田町職員の給与に関する条例等の一部改正	1月28日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	令和7年度柴田町新図書館建設工事(債務負担行為)請負契約	1月28日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	令和7年度一般会計、水道事業会計、下水道事業会計補正予算	1月28日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	1月28日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
3月会議	柴田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町公告式条例の一部改正	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町職員の給与に関する条例の一部改正	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町国民健康保険税条例の一部改正	3月5日	17	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	否	○	議	
	課設置に関する条例の一部改正	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町道路占用料条例の一部改正	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町介護保険条例の一部改正	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	令和7年度一般会計、国保特別会計、介護特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業会計補正予算	3月5日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	令和8年度一般会計、国保特別会計、介護特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計予算	3月19日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
4月会議	令和7年度一般会計補正予算	3月19日	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議員辞職	4月1日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	議員の頭影について	4月1日	15	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
令和8年度一般会計補正予算	4月1日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

※「○」は賛成、「否」は賛成の意思を表さないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため表決に参加していないことを表す。

出前授業 in 船岡中学校

令和8年2月16日・17日の2日間、船岡中学校の3年生を対象に、正副議長による出前授業が行われました。

授業では、議長・副議長から議員を志したきっかけや仕事のやりがい、議会の仕組みを説明した後、生徒からの質疑に丁寧に応じ、地方自治への理解と参画意識を育む貴重な機会となりました。



ようこそ柴田町へ 議会視察受入れました

山形県朝日町議会運営委員会

令和8年2月4日

・ワールドカフェを活用した自由討議 ほか



福島県西会津町議会 広報分科会

令和8年1月28日

・議会だよりの紙面構成の工夫など



岩手県滝沢市議会運営委員会

令和8年1月20日

・政策サイクル及び一般質問の取組



よりよい町を目指して

各委員会が行った、町の現状について現地視察や担当課から調査した内容などを報告します。

総務 常任委員会

調査日 令和8年2月3日

調査1 地域づくり交付金制度の見直し状況

調査結果〈まちづくり政策課〉

交付金の約6割が備品購入や集会所の維持費に充てられている。今後、一律交付が妥当であるかを慎重に検討する必要がある。交付金が本来の目的である「地域コミュニティの活性化」に真に寄与しているかを評価軸とし、今後の運用を注視していく。

調査2 移住・定住の促進施策の取組状況

調査結果〈まちづくり政策課〉

空き家バンク成約の大きな障壁となっていた「残置物(仏壇や家財道具等)」の処理に関し、専門業者とのマッチングを行うなどのきめ細かな支援が成約率向上に大きく寄与していると評価する。成約実績を踏まえて、今後もコーディネーターを積極的に活用していくことが必要である。



空き家という資源をどう次世代へつなぐか

調査3 空き家・空き地の現況（現地調査）

調査結果〈町民環境課〉

空家等対策計画の策定に向けて検討するとの回答から3年が経過する現在も未策定のままである。対策を組織的に推進する上で、本計画の策定は必須であるため、計画策定に向け早急に取り組まれない。

文教厚生 常任委員会

調査日 令和8年2月13日



より良い町政への提言へとつなげます

調査1 柴田町休日部活動地域移行推進計画の進捗状況

調査結果〈スポーツ振興課〉

休日部活動の地域展開にあたっては、今後、その都度出てくる課題に対応しながら、令和10年度の完全移行に向かって、しっかりと進めていただきたい。

調査2 しばたの郷土館再整備実施設計業務委託の進捗状況

調査結果〈生涯学習課〉

しばたの郷土館再整備実施設計業務委託について、説明を受けた。

調査3 しばたっ子応援団の概要

調査結果〈生涯学習課〉

しばたっ子応援団に関しては、部活動の地域展開との連携を取りながら進めていただきたい。



常任委員会レポート

産業建設

常任委員会

調査日 令和8年1月19日、21日

調査1 宮城県阿武隈川下流域下水道・県南浄化センターの事業内容（行政視察）



処理コストの削減と環境負荷低減の両立



低振動工法で着々と

調査2 押分水門・押分排水機場（行政視察）



地域の安全を守る最前線！ 巨大な水門を前に

調査3 鷺沼排水区雨水幹線整備工事の進捗状況（事務調査・現地調査）

調査結果〈上下水道課〉

鷺沼排水区雨水幹線整備工事については、順調に進められていることを確認した。今後も計画的に工事を進められたい。

議会運営

委員会 視察報告

福島県会津美里町議会 令和8年1月26日
町民目線の紙面改善を図る議会だよりモニターの取組



福島県会津若松市議会 令和8年1月27日

※議会プロフィールの先進的な取組



※議会プロフィール…議会評価のものさし

宮城県女川町議会 令和8年2月12日

議員養成塾の取組



議会広報

常任委員会

議会広報クリニック 令和8年2月20日



本町の「討論の透明性」や「決算特集の熱量」が高く評価されました。一方で、可読性を高める「デザインの引き算」や、表紙と記事の連動、町民が主人公となるコーナーの新設が課題として示されました。今後は、レイアウト刷新などを行い、町民の共感と行動を促す広報紙を目指します。



創立33周年!笑顔がつながる家庭婦人バレーボールチーム

フレッシューズ

私たちのチームは今年で創立33周年を迎えました。現在は柴田町内だけでなく、近隣の町からも集まった20代からシニア世代まで、幅広い年代の19名で活動しています。

東日本大震災やコロナ禍を経て、地域のチームや大会は減少しましたが、私たちはそれぞれに目標を掲げ、一歩ずつ取り組んでいます。こうして長年バレーボールを続けてこられたのは、何より家族の理解と温かい応援があったからこそだと感謝しています。

当チームの自慢は、バレー以外の楽しみも充実していることです。節目には記念旅行に出かけ、これまでも関東や関西へ親睦を深めに行ってきました。経験者はもちろん、未経験の方も大歓迎です。ぜひ一度、活気ある練習風景を見学に来ませんか？



サークル紹介

町内で活動しているサークルを紹介します



活動日時：毎週土曜日 19時から
活動場所：槻木小学校体育館
お問い合わせ先：
代表 村上 舞美
Tel 090-7660-9972

- 議会広報常任委員会
- | | | | |
|------|-------|----|------|
| 委員長 | 小田部峰之 | 委員 | 笠松均 |
| 副委員長 | 大橋武彦 | 委員 | 吉田清 |
| 委員 | 吉田謙治 | 委員 | 平間幸弘 |
| 委員 | 平間康弘 | | |

編集を終えて

満開の桜が町を彩った「しばた桜まつり」には、今年も多くの方に足をお運び頂きました。川沿いに続く桜並木の下では笑顔が行き交い、地域のにぎわいを改めて感じる季節となりました。ご協力いただいた関係者の皆様にも、この場を借りて深く感謝申し上げます。

また、今号では、令和8年度の予算についてもお知らせいたしました。町の将来を見据え、町民の暮らしを支えるための施策を着実に進めていく一年となります。限られた財源の中でも安心して暮らせるまちづくりを目指し、議会としても引き続き丁寧な議論を重ねてまいります。

(笠松均)

槻木保育所 入所式



4月3日に入所式が行なわれました。
みんな元気に遊びましょう!

6月会議の予定

6月会議は **6月5日(金)**
午前9時30分開会予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。

